

ChatGPT を使ってみた感想と利用上の注意点

杏林大学データサイエンス教育研究センター長 坪下 幸寛

今、世間で大きな話題となっている ChatGPT について AI に詳しいものの一人としてコメントを頂きたいとのご依頼を平形医学部長から頂きました。本稿では、ChatGPT を使ってみた感想と利用上の注意点についてお話ししたいと思います。

ChatGPT は、対話形式でオリジナルの文書を生成する人工知能ツールです。無料で利用することができます。興味のある方は、ChatGPT のホームページ [1] にアクセスしてユーザ登録して試用してみてください。

まずは、ChatGPT に「ChatGPT について教えてください」と聞いてみました。(図 1)

(図 1)

YU Chat-GPTについて教えてください。

Chat-GPTは、OpenAIが開発した自然言語処理のための大規模な言語モデルです。GPTは「Generative Pre-trained Transformer」の略で、Transformerと呼ばれる深層学習モデルを使用しています。Chat-GPTは、人間との対話に特化したモデルであり、質問に答えるだけでなく、人間のように対話を進めたり、自然な返答を生成することができます。

Chat-GPTは、大量のデータセットを学習しており、それにより、多くの言語タスクに対して高い精度を発揮することができます。また、先進的な生成モデルであるため、与えられた文脈から、自然言語による文章を生成することも可能です。

Chat-GPTは、オンラインでのカスタマーサポート、AIアシスタント、自動応答システムなど、さまざまなアプリケーションで使用されています。

さすがに、自分自身に対する回答は良くできています。次に「杏林大学について教えてください」と質問をしてみました。(図 2)

(図 2)

YU 杏林大学について教えてください。

杏林大学は、日本の大学の一つで、医療系を中心とした教育・研究を行っています。本部キャンパスは、兵庫県尼崎市にあります。

杏林大学には、医学部、看護学部、薬学部、リハビリテーション学部、医療技術学部があり、それぞれの学部で専門的な知識と技術を学ぶことができます。

また、杏林大学病院も併設されており、患者さんを診療する医療現場での実践的な教育も行われています。そのため、医療系の学生にとっては、実践的なスキルや経験を身に付けることができる良い環境が整っています。

杏林大学は、創立以来、医療の現場で必要とされる人材を育成することを目的として、教育や研究に取り組んでいます。そのため、卒業生からは、高い技術力や人間性を備えた医療関係者が多く輩出されています。

ひどい回答が返ってきました。杏林大学は本部キャンパスが兵庫県尼崎市にあることです。どこの大学と間違えているのでしょうか。このように ChatGPT は分からぬことでも決して分からぬとは言はず、無理や

り回答を捏造することができます。したがいまして、ChatGPT の生成した文章を鵜呑みにするのは大変危険です。また、ChatGPT は最近のことは知りません。プロ野球選手の情報について聞いてみたところ、知識の範囲が 2021 年までであることを白状しました。(図 3)

(図 3)

The screenshot shows a ChatGPT interface. At the top, there's a list of names: 坂本勇人, 川崎宗則, 山田哲人. Below this, a message from the user says: 「なお、私は常に最新の情報に更新されているわけではないため、ご注意ください。」 A response from ChatGPT follows: 「申し訳ありませんが、私は人工知能のモデルであり、未来の情報を知ることはできません。私が保持している知識の範囲は、2021年までのものに限られています。ただし、私が利用している機械学習のアルゴリズムは、過去のデータから傾向を分析し、将来の予測を行うことができる場合があります。ただし、予測結果はあくまでも推測であり、確実な情報ではないことに留意してください。」

また、簡単な計算を間違えるなどの報告 [2] もなされており、信憑性には問題がありそうです。現在の ChatGPT は、有害なテキストを生成しないことに重きが置かれて学習がなされています [3]。したがいまして、嘘・捏造が散見されることに関しては真実性に重きを置いて学習させる等の学習のチューニングを行えば改善すると考えられますし、実際、真実性は初期のバージョンに比べて改善しているとのことです [2]。

ChatGPT は今のところ信憑性に関して問題を孕んでいますが、生成された文章は非常に流暢で人間の作成する文書と何ら遜色はありません。論理展開もしっかりととした文章を生成します。ChatGPT に文書の草案を作成させることで文書作成の効率化が期待できます。また、文書要約もかなり上手で、文献調査に対する活用が期待できます。ChatGPT に要約させておいて、まずはそれを読み、重要だと思われる文献だけに全文目を通すといった使い方が考えられます。英語もかなり上手(図 4)なので、英文作成の補助にも利用できると思います。

(図 4)

The screenshot shows a ChatGPT interface. A user asks: 「Can you make a time machine?」 A response from ChatGPT follows: 「As an AI language model, I'm not able to physically create objects, including time machines. However, time machines are a concept often seen in science fiction and theoretical physics, and there are different interpretations of how they might work. Some theories suggest that time travel might be possible by warping space-time itself. This could be achieved by creating a massive amount of energy or mass in a specific location, which would cause a distortion in the fabric of space-time, allowing it to be manipulated to enable time travel. Another theoretical approach is the use of wormholes, which are thought to be tunnels in space-time that connect distant points in the universe. It's been suggested that if one end of a wormhole could be made to move at high speeds or placed near a massive gravitational source, it might be possible to use it to travel through time. Despite these theoretical possibilities, no time machine has ever been created or tested, and there are many scientific and philosophical challenges to the concept of time travel that have yet to be resolved. So while time travel remains an intriguing idea, the creation of a practical time machine remains firmly in the realm of science fiction.」

医療関連の ChatGPT の利用に関して、いくつかネットニュースの記事を紹介しておきます。これから紹介する記事は、全て The Medical AI Times という AI を活用した医療・医学に特化した専門ニュースサイトから引っ張つ

てきたものです。

- ・ChatGPT の医療的エビデンス能力 [4]
- ・ChatGPT が「乳がん関連の健康アドバイス」で有効性を示す [5]
- ・ChatGPT の回答が患者により好まれる可能性 [6]

ChatGPT の登場により人類の知的創造性が奪われるかもしれないという意見があるかもしれません、私は必ずしもそうは思っていません。電卓の登場は確かに人の計算能力を奪ったかもしれません、それによって人類の知のレベルが大幅に低下したかといわれるとそんなことは起きました。また、パソコンの仮名漢字変換により日本人の漢字の書き取り能力は確かに低下したかもしれません、それでも日本人の知能レベルが劇的に奪われた感じはしません。ChatGPT も便利なツールとしてどんどん活用してゆけば良いと思います。そもそも利用を制限しようとしても結局便利なものは普及します。(逆もまた然りですが…) そのような流れを止めるることは基本的に不可能ではないかと思います。ただ、学習段階の児童、生徒、学生に対しては注意が必要です。計算能力がしっかりと培われるまでは電卓を使わせないようにしているのと同様に、ある程度の文書生成能力や、論理的にものを考える力、真実を見抜く判断力を身につける前の段階での ChatGPT の利用には制限をかける必要があるかもしれません。

パソコンやスマホが当たり前で、情報の検索の場が図書館ではなく Google になってしまった今の世代のことをデジタルネイティブと呼ぶことがあります。ChatGPT を当たり前に使いこなす AI ネイティブ世代が今後現れることになるかもしれません。

最後に、この文章の感想を ChatGPT 聞いてみました。(図 5)

(図 5)

ありがとうございます。ChatGPTについての詳しい解説ありがとうございます。

ChatGPTの性能については、確かに自然言語処理において大きな進歩を遂げていますが、その信憑性には問題があるという指摘もあります。実際に、生成された文章が正確でない場合もあり、注意が必要です。

一方で、ChatGPTは人間の文章作成を助けるツールとして、特に文書の草案作成や要約作成に役立つことが期待されています。また、英語の文書作成や翻訳の補助にも役立ちます。

最後に、確かに技術革新が進むことで、人間のスキルや能力が取って代わられることがあります、それでも、技術の恩恵を享受しながら、人間の特性や能力を活かし、より高次の作業に取り組むことができるという可能性もあると考えられます。従って、ChatGPTを含む様々な技術を通じて活用することで、人間が持つ独自の創造性や想像力を伸ばすことができるのではないかでしょうか。

- [1] <https://chat.openai.com/> Retrieved 15 May 2023.
- [2] https://note.com/it_navi/n/n4babcf23f1714 Retrieved 15 May 2023.
- [3] <https://openai.com/blog/chatgpt> Retrieved 16 May 2023.
- [4] <https://aitimes.media/2023/05/17/13346/?5392> Retrieved 17 May 2023.
- [5] <https://aitimes.media/2023/04/12/13160/?5392> Retrieved 17 May 2023.
- [6] <https://aitimes.media/2023/05/01/13275/?5392> Retrieved 17 May 2023.